

蟻峰山の緑が濃くなり、季節は夏に向かっていますが、感染症対策のための休校措置が5月20日まで延長になりました。宿題や手伝いなど自分が立てた計画が順調に進んでいるでしょうか。通常時に比べて行動範囲は狭くなっていますが、自由に使える時間は一人一人にたくさん与えられています。コロナが終息して日常を取り戻した時に、「たいへんだったけど、あの時間があったからこんなことができた」という自信と達成感を味わうことができたら、すばらしいと思いませんか。ぜひ、そんな素敵な時間の使い方をしてほしいと思います。また、体調管理のうえで、何よりも大事なことは、生活リズムを整えることです。毎日の起床時刻と就寝時刻を大きく変えないことがポイントです。

中学校生活は一生のうちのたった3年間で、油断していると、あっという間に過ぎてしまいます。時間の使い方は、社会人になっても自分の生き方に関わってくるほど大切なものです。中学生の頃から時間の使い方を意識できる人になりましょう。

愛情が詰まったマスク

倉敷帆布さんからいただいたマスクを、できるだけ早く生徒全員に『マスクキット』として手渡したいという思いから、早速、休校中に先生方が裁断して袋に詰めてくださいました。「マスクがどこにも売ってないから、生徒が困らないように、頑張って次の登校日までに仕上げよう！」という前向きな発言や「かわいい袋がないから、ナイロン袋だけどいいかなあ」という細やかな心配りに、思わず笑みがこぼれたり、何時間も同じ姿勢で黙々と布に型紙を置いて印をつけている先生方の姿を見て、“生徒には会えないけど、こうして生徒と繋がっているんだなあ”と優しい気持ちになれたりしました。

倉敷帆布さんと先生方の愛情たっぷりのマスク、完成しましたか？登校日に見せてくださいね！



生徒の皆さんへ . . .



今年度、郷内中生徒が目指す行動目標は次の2つです。

①人の話を目と心で聴く ②人のよいところを見て、相手に伝える

現在、学級や学校全体で活動できることが制限されているため、クラスの団結力を育てたり、友だちのよい面を発見したり、面と向かって話を聴いたりする機会が少ないですが、こんな時だからこそ、「今までの日常が、どんなにありがたいことだったか」を知ったり、家族や友だちの優しさに気づいたりするものです。だれかによって自分の心が温かくなったり優しくなったりした時は、素直に相手にそのことを伝えましょう。言葉で伝えると、もっと優しさが広がるのを感じますよ！